

多摩丘陵に静かに眠る
奇跡の古道を歴史遺産に
鎌倉古道・歴史遺産の会



鎌倉古道・歴史遺産の会事務局
TEL 042-735-5972(今井) <http://kamakurakodo.web.fc2.com/>

「いざ鎌倉！」の合言葉で、大事に諸国の武士が幕府へ駆け付けた鎌倉時代。その鎌倉へ続く鎌倉街道の中の最重要路が、町田の野津田や七国山地区に残る「鎌倉街道・上道」だ。群馬の高崎から続くこの古道は現在でもその名残が随所に見られ、近くには軍道や古代国道、その他大規模な馬牧や砦跡、古戦場など貴重な歴史遺産群も残っている。今、その鎌倉古道を保全し、後世に残していこうと懸命に活動している市民団体がある。

2011年12月に発足した鎌倉古道・歴史遺産の会は、町田に残る鎌倉古道の、文化財

としての登録を目指す市民団体だ。古街道研究家で歴史シァター・プロデューサーの宮田太郎氏と町田市民有志の発案で、立ち上がった。

現 在、会員数は55名でその多くが町田市民だ。具体的な活動は野津田の華嚴院坂脇にある鎌倉古道の保全や広報活動、宮田太郎氏を招いて行うガイドウォーク、講演会の開催などだ。ウォーキングは回を重ねる毎に参加者も増え、非会員も含め延べ800名近くが古道の魅力を楽しんだ。

会員の多くは定年退職後の60代以上の世代だが、ガイドウォー

クがきっかけとなり入会する若い世代も増えている。いずれも歴史への興味と町田への愛着がある人ばかりだという。

「この会に参加してから、生きがいが見つかり生活に張りが出てきた。」同じ趣味を持つ仲間ができて楽しいし、何よりも大自然の中の作業は大変だけど気持ちがいい。会員の多くがこう話し、古道への想いはかけがえないものになっている。

「町田は国内有数の歴史街道・歴史遺産が眠る奇跡の町。その素晴らしい古道を歴史遺産にしたいし、こんな素晴らしい遺産があることを多くの人に知ってもら

いたい。」そう語るのは運営委員の東野さん。鎌倉古道を町田の大切な歴史観光資源として保全し、存在をアピールすることが地域貢献へ繋がると考えている。

夏 の暑さも、冬の寒さも、作業は厳しいが遠い時代に想いを馳せれば、疲れも和らぐという。時を遡り、鎌倉時代に武将たちが鎌倉を目指しこの道を駆け抜けた、そんな歴史のロマンを感じながら、意義ある大仕事をやり遂げようとしている。彼らの挑戦はまだ始まったばかりだ。



古道でみつけたカヤの実。自然との触れあいも楽しみの一つだ



A



B



C



D



E



F



G

A. 遊歩道として整備した古道には手作りの案内標識も B. 運営委員の東野至さん C D. 作業は開伐や枝打ち、雑草取りやゴミ拾いなど。細く伐採した竹を利用して作ったオリジナル E. 2013年、華嚴院坂の下に鎌倉古道標柱を立てる会員の皆さん G. 毎回60名以上の参加がある人気のガイドウォーク